

榛東村 公園施設長寿命化計画
(個別施設計画)

平成 31 年 3 月

榛東村建設課

1 公園整備状況

(平成 30 年 10 月時点)

No.	公園名	住所	設置年	経過年数	面積(m ²)	施設等
1	大宮公園	長岡 447 番地 1	H17.7	14	1,521.64	トイレ
2	下新井公園	新井 2198 番地	H17.4	14	1,029.00	四阿
3	宿公園	広馬場 3976 番地 1	H17.4	14	1,447.44	トイレ
4	下前公園	広馬場 77 番地 3	H18.12	12	1,000.00	トイレ
5	倉海戸公園	山子田 111 番地 7	H19.6	12	1,007.56	トイレ
6	反田公園	長岡 563 番地 3	H21.3	10	1,933.46	トイレ
7	しんとう南部公園	広馬場 1073 番地 1	H22.12	8	7,579.28	トイレ兼倉庫・四阿
8	長岡緑地公園	長岡 1436 番地 2	H7.3	24	2,856.00	トイレ
9	新井緑地公園	新井 1523 番地 1	H1.12	29	5,020.20	トイレ兼倉庫・四阿
10	広馬場公園	広馬場 1331 番地 1	H15.4	16	2,593.00	トイレ・四阿
11	ふれあい広場	新井 790 番地 5	H6.12	24	4,593.00	四阿

2 計画期間

本計画の期間は、平成 31 年 4 月から平成 41 年 3 月まで（10 年間）とする。

なお、計画の内容については、各公園の点検結果、劣化状況、利用者の状況等に応じて 5 年ごとに見直しを行うものとする。

3 計画対象公園の優先順位

(1) 早急な対応を必要とする公園

利用状況が比較的高く、年数が経過したところを優先して修繕等を行う。対象となる公園は 1 箇所、利用状況が高いことから、安全に利用してもらうためにも、早急な対応を必要とする。

順位	公園名	選定理由
1	新井緑地公園	利用状況が比較的高く、経過年数も一番長い公園となっている。トイレ兼倉庫の破損や劣化も見られるため、安全を考慮しながらトイレ兼倉庫の修繕を行う。

(2) その他の公園

その他の公園については、村民からの指摘や、日常の点検、年に 1 回の職員による定期点検を基にして、利用状況の高い公園や、経過年数の長い公園を優先的に修繕等行うようにする。

4 計画対象公園施設

(1) これまでの維持管理状況

所管する公園のうち供用開始年度が最も古いのは、新井緑地公園の平成元年であり、29年が経過している。

これまでの維持管理状況は、日常の点検は職員が不定期で実施し、定期点検は職員が年1回実施している。

(2) 個別施設の状態等

順位	公園名	状態等
1	新井緑地公園	平成元年に設置されてから20年以上経過し、施設等の修繕が発生している。草刈り等については、業者に委託して行っている。トイレ兼倉庫の修繕を行う。
	大宮公園	平成17年に設置されてから10年以上経過している。管理については、2区で管理を行っている。今後の点検等によって修繕等を検討する。
	下新井公園	平成18年に設置されてから10年以上経過している。管理については、21区で管理を行っている。今後の点検等によって修繕等を検討する。
	宿公園	平成17年に設置されてから10年以上経過している。管理については、19区で管理を行っている。今後の点検等によって修繕等を検討する。
	下前公園	平成18年に設置されてから10年以上経過している。管理については、16区で管理を行っている。今後の点検等によって修繕等を検討する。
	倉海戸公園	平成19年に設置されてから10年以上経過している。管理については、5区で行っている。今後の点検等によって修繕等を検討する。
	反田公園	平成21年に設置されてから5年以上経過している。管理については、1区で行っている。今後の点検等によって修繕等を検討する。
	しんとう南部公園	平成22年に設置されてから5年以上経過している。草刈り等については、業者に委託して行っている。今後の点検等によって修繕等を検討する。
	長岡緑地公園	平成7年に設置されてから20年以上経過している。清掃等については、団体に委託して行っている。今後の点検等によって修繕等を検討する。
	広馬場公園	平成15年に設置されてから10年以上経過し、施設等の修繕が発生している。草刈り等については、業者に委託して行っている。今後の点検等によって修繕等を検討する。
	ふれあい広場	平成6年に設置されてから20年以上経過している。草刈り等については、業者に委託して行っている。今後の点検等によって修繕等を検討する。

5 健全度を把握するための点検調査結果の概要

点検調査実施時期

2018年8月

点検調査方法

公園施設及び建築物については、目視や触診による点検で健全度の把握を行った。

点検調査結果の概要

点検を行った公園の中で、トイレ兼倉庫の破損が見られた公園があった。その他の公園の施設については、目立つような不備は見当たらなかった。

6 日常的な維持管理に関する基本的方針

維持管理については、定期点検時に劣化等の状態が良くない施設等については、修繕等を判断及び実施し、それ以外の施設等については、見回りを行い状態に異変があった場合には、直ちに修繕等の対応を行う。

また、点検について、職員で点検を行っているが、より詳しい点検のできる業者による定期点検を検討する。

7 公園施設の長寿命化のための基本方針

修繕による利用が可能であれば、計画的に補修や塗装等を行い、利用が厳しいようであれば改修したり等、公園の安全を考慮しながら、公園内の施設等の長寿命化を図るものとする。

また、補修や塗装の際は、安全かつ長期的に利用できるような維持管理を実施していく。

8 公園別の健全度調査結果、長寿命化に向けた具体的対策、対策内容・時期、対策費用

(1) 健全度の算定

健全度とは各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標である。①部位の評価点②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定する。なお、利用者に子供もいることから施設の安全面を考慮し、算定基準は学校施設の長寿命化計画算定基準を準用する。

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
屋根・屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上げ	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
計	60

③健全度

$$\text{総和 (部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

(「学校施設の長寿命化計画算定に係る解説書」から)

(i) 早急な対応を必要とする公園

a 新井緑地公園（トイレ兼倉庫）

部位	所見	評価
屋根・屋上	屋根裏に穴あり	C
外壁	全体的に汚れ等あり	B
内部仕上げ	特に異常なし	A
電気設備	特に異常なし	A
機械設備	特に異常なし	A

特記事項	健全度
屋根裏に穴が開いている。 全体的に汚れは見られるが、それ以外に目立つ不備は見られないため異常なし。	87

(ii) その他の公園

その他の公園については、適切な定期点検を行うとともに、日常の点検でも劣化等に注意をしながら実施をする。

また、現在、遊具のある公園のみ定期点検を行っているので、遊具以外の施設がある公園の点検も検討する。

(2) 長寿命化に向けた具体的対策、対策内容・時期

①早急な対応を必要とする公園

(i) 新井緑地公園

(対策)

トイレ兼倉庫の修繕を行う。

(事業概要)

新井緑地公園は、子供達の利用が比較的多く、経過年数も最も長く、トイレ兼倉庫の破損や劣化が見られたため、安全を考慮して、修繕を行う。

(計画)

・平成 32 年度 トイレ兼倉庫の修繕

(面積)

新井緑地公園（トイレ兼倉庫） 【36 m²】

②その他の公園

その他の公園については、主に定期点検を基にして、利用状況や経過年数によって、施設等の修

繕を順次行っていくものとする。また、利用状況や施設等の劣化状況を考慮して、施設等の修繕だけでなく撤去についても検討し、実施する。

(3) 対策費用

①早急な対応を必要とする公園に係る工事等の概算費用

(i) 新井緑地公園 トイレ兼倉庫修繕 予算額

平成 32 年度 94 千円

②上記以外の公園に係る工事等の費用

一定金額を予算化しておき、緊急の修繕等にも対応できるようにする。また、定期点検等により、具体的な計画を立て次第、予算化を図るものとする。

9 計画全体の長寿命化対策の実施効果

ライフサイクルコストの面からも大規模改修に伴う長寿命化の費用削減効果は低く、清掃・保守・修繕など日常・定期点検を通じて不具合箇所への早急な対応を行うことにより長寿命化を図る。

公園利用者等、利用状況について情報を収集し、状況を把握し改善に努める。

(ライフサイクルコストの試算)

大規模改修を伴う長寿命化対策をしない場合のライフサイクルコスト

(維持費年毎) (使用期間) (改築費)

162 千円 × (29+21-1) + 11,880 千円=19,818 千円

19,818 千円 ÷ 50 = 396.36 千円 ≒ 396 千円/年

大規模改修を伴う長寿命化対策をした場合のライフサイクルコスト

(維持費年毎) (使用期間) (改修 1 回目) (改修 2 回目) (健全度調査) (改築費)

162 千円 × (29+46-1) + 6,120 千円 + 6,120 千円 + (12 千円 × 4 回) + 11,880 千円
= 36,156 千円

36,156 千円 ÷ 75 = 482.08 千円 ≒ 482 千円/年

単年度あたりのライフサイクルコスト縮減費

396 千円/年 - 482 千円/年 = -86 千円/年

(参考)

※維持管理運営費は H27～H29 の 3 年間の平均決算額、試用期間 50 年 → 長寿命化 75 年

※大規模改修 25 年ごと

※建築単価は総務省公園を利用